

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成29年03月24日

計画の名称	折尾駅周辺地区における連続立体交差事業と連携したアクセス道路整備												
計画の期間	平成28年度～平成30年度(3年間)									重点配分対象の該当	○		
交付対象	北九州市												
計画の目標	鉄道連続立体交差事業の進捗に合わせて、JR折尾駅への主要アクセス道路や駅前広場の整備を実施することで、JR折尾駅周辺地域のアクセス機能の強化、快適性や利便性の向上を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,190	A	1,890	B	0	C	300	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	13.69	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28		H30末
1	アクセス機能や交通結節機能の強化及び交通渋滞の解消、さらには、北九州市の西部地域の都市拠点として魅力あるまちづくりに向け、鉄道の立体交差化、街路事業の4車線化及び北口駅前広場の整備、土地区画整理事業を一体的にすることで、快適かつ利便性の高い市民生活を確保することが期待される。 駅周辺街路及び駅前広場整備によるJR折尾駅と周辺主要交差点との移動利便性向上を平均旅行速度により表現 一定区間における所要時間/距離	16km/h	km/h	18km/h

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H28	H29	H30	H31	H32			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	日吉台光明線	L=1.5km 駅前広場A=9,800㎡	北九州市八幡西区		■	■			1,118	—	
	A01-002	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	日吉台光明線	1.5km	北九州市八幡西区	■					761	—	
	A01-003	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	日吉台光明線(駅前広場)	駅前広場整備 A=9,800㎡	北九州市八幡西区	■					11	—	
											小計						1,890		
											合計						1,890		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H28	H29	H30	H31	H32			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	C01-001	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	—	—	ホーム上屋等景観整備事業	ホーム上屋約744㎡ 防風ス クリーン約190m	北九州市			■			300	1.1	—
		景観性・快適性の向上により、基幹事業の効果をより一層高めることができ、地元住民の期待に応え、シンボル性を高めることができる																	
											小計						300		
											合計						300		

交付金の執行状況

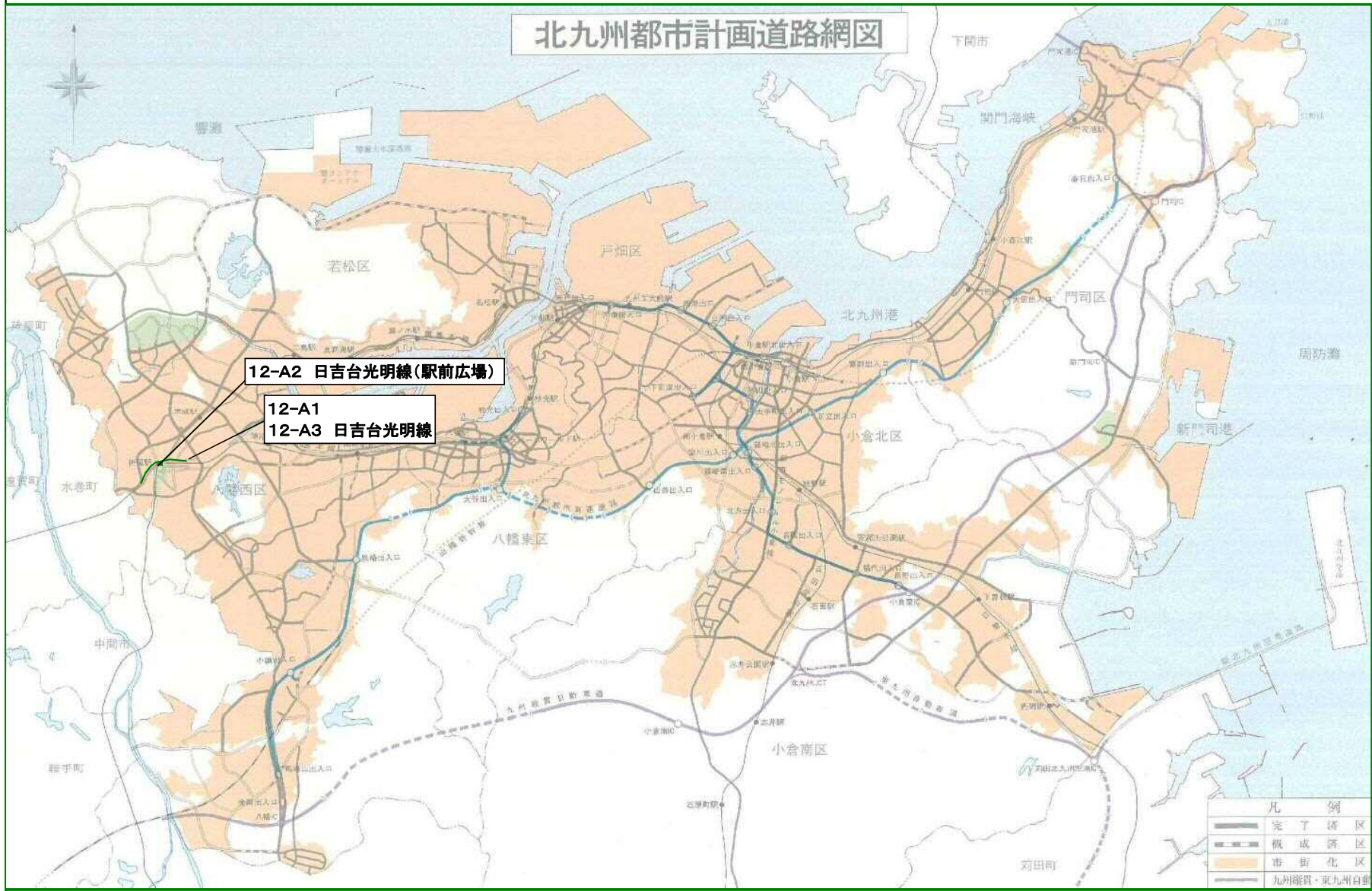
(単位：百万円)

	H28	H29	H30		
配分額 (a)	358	502	191		
計画別流用増△減額 (b)	66	0	0		
交付額 (c=a+b)	424	502	191		
前年度からの繰越額 (d)	0	138	184		
支払済額 (e)	286	456	251		
翌年度繰越額 (f)	138	184	124		
うち未契約繰越額 (g)	90	114	116		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	21.22	17.81	30.85		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	用地買収・補償について、地権者との交渉等に不測の日数を要し、年度内契約ができなくなったため。	先行工事の遅れにより、工事着手に遅れが生じたため。	一部工事において、関係機関との調整が難航し、年度内の執行が困難となったため。		

(様式第8)

社会資本総合整備計画 参考図面

計画の名称	12 折尾駅周辺地区における連続立体交差事業と連携したアクセス道路整備	
計画の期間	平成28年度～平成30年度(3年間)	交付団体 北九州市



事前評価チェックシート

計画の名称：折尾駅周辺地区における連続立体交差事業と連携したアクセス道路整備

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○